

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	S.S	学部・学科	国際教養学部
学年	3年	派遣国	イギリス
派遣大学	リーズ・トリニティ大学		
期間	2022年 9 月 19 日～ 2023年 4 月 28日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	校内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○ (暖房のみ)	冷蔵庫	○
滞在費	約 (9万) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (1) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	4万円	肉、野菜、卵、日本食
学用品購入費	0円	
交通費	3千円	スーパーに行くためのバス代
交際費	0円	
その他	2万円	美容院、オンラインショッピング
合計	6万円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

リーズは比較的安心な街であった。大学の寮があるのはしないからバスで1時間ほどのところで、周りは森に囲まれている。夜に1人でバスに乗ってもあまり危険な様子ではなさそうだった。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災 ^{付帯} 海外学 / その他 ()		
加入期間	(8) ヶ月間	保険料	() 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 (**リーズ**)

イギリスといえばロンドンのイメージばかりで、リーズはあまり日本人には知られていないが、比較的大きな街で、生活に必要なものはなんでも揃っている。ウェストヨークシャーに位置し、イギリスでは北の方にある。天気はしとしとと雨が降ったり、霧が出たりすることが多く、特に冬場は晴れている時間帯は少ない。春になると穏やかな気候で陽の光が植物をより美しく映させる。

ロンドンまでは2時間ほどで直通の電車で行けるので、日帰り旅行も週末などに楽しめる。マンチェスター空港へも1時間ほどで到着できるため、ヨーロッパ旅行もしやすい。

大学がある場所はリーズ市内からバスで1時間ほどの場所で、自然豊かなホースフォースという小さな町にある。一番近くのスーパーまでは歩いて10分ほどかかる。

【学業編】

1. 大学情報

大学	リーズトリニティ大学	所在地	リーズ
最寄空港	マンチェスター	空港からの距離	
空港⇄大学	(タクシー) *移動手段		
学生数		留学生数	
学部	<p>経済学部 家族支援学部 予報ジャーナリズム学部 法学部 地理学部 専門的刑事学部 映像学部 スポーツコーチング学部 テレビ制作学部 教育学部 創作執筆学部 国際ビジネス学部 社会学部 数学部 建築マネジメント学部 ジャーナリズム学部 コンピュータサイエンス学部 宗教教育学部 心理学部 スポーツ心理学部 理科学部 刑事学部 デジタルマーケティング学部 哲学部 写真学部 スポーツジャーナリズム学部 英語学部 プロジェクトマネジメント学部 歴史学部 生物医学部 ゲームデザイン学部 積算学部 ビジネス研究学部 法医学心理学部 看護学部 包括的リーダーシップ学部</p> <p style="text-align: right;">*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。</p>		
学部/専攻	<p>教育学部</p> <p style="text-align: right;">*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。</p>		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	授業		授業	授業	
午後					

② (1)月～(4)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	授業	授業		授業	
午後					

3. 履修内容

科目	Religions in Focus		
履修期間	1 - 4 月	単位数	20
授業内容／形態	様々な宗教（例えばキリスト教やイスラム教など）を歴史から成り立ちを紐解き、今日における宗教とは何かを考える。講義型。		
成績	0		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Child Development		
履修期間	9 - 4 月	単位数	20
授業内容／形態	主に乳幼児がどのように発達していくのかを、身体的な面と精神的な面から分析していく。アクティブラーニング型。		
成績	15		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Becoming a Teaching Professional		
履修期間	9 - 1 月	単位数	20
授業内容／形態	実習などをしながら、教師のあるべき姿は何かなどを考える。講義型中心。		
成績	2 3		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Difficulties Families Face		
履修期間	9 - 1月	単位数	20
授業内容／形態	現代社会における家族の形、家族の問題の多様性や複雑化について考える。講義型。		
成績	38		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Religions, Cultures and Complexities		
履修期間	9 - 1月	単位数	20
授業内容／形態	世界の様々な地域の文化について研究する。講義型。		
成績	62		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Fantasy and Gender		
履修期間	0	単位数	20
授業内容／形態	イギリスの昔話や、神話などをもとに今日の性の多様性を考える。講義型。		
成績	0		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	S.S	学部・学科	国際教養学部
学年	3年	派遣国	イギリス
派遣大学	リーズトリニティ大学		
期間	2022年 9月 19日～ 2023年 4月 28日		
プログラム	交換留学プログラム		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	Religions in Focus
講義内容	様々な宗教の成り立ちを歴史的な観点から見ていく。
科目	Child Development
講義内容	主に乳幼児がどのように身体的、そして精神的に発達・成長していくのかを科学的な観点も用いながら考える。
科目	Becoming a Teaching Professional
講義内容	教育実習などの実習も含みながら、教師のあるべき姿について考える。
科目	Difficulties Families Face
講義内容	複雑化かつ多様化した今日の家族のあり方や問題について考える。
科目	Religions, Cultures and Complexities
講義内容	様々な地域の文化について、宗教や歴史をもとに学習していく。
科目	Fantasy and Gender
講義内容	イギリスに古くから伝わる昔話や、神話などを学ぶ。

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

長年の夢であった長期留学を実現させることができ、想像以上にたくさんの新しい経験をすることができた。また自分も今まで知らなかった自分の新たな一面に気づくことができた。楽しいことよりは不安なことや苦しいことの方が遥かに多かったが、私の人生の中で忘れることのできない貴重な8ヶ月となったことは間違いない。

まずは学習面において、現地に行く前までは日本のように同年代の人たちが多いのかと思っていたが、様々な年代の人たちがいる点におどろいた。例えば小さな子供がいる母親や、30歳を超える人たち、働きながら通っている人たちもいた。そこから彼らの学ぼうという姿勢や情熱はとても大きなものなのだと感じられ、何歳になっても、そんな状況においても学びたいと思う気持ちを抑えず、努力することが大切なのだと考えた。そして、基本的には事前にはリサーチしてきたことについてみんなで意見交換をするスタイルの授業が多かったため、より自分の興味のあるテーマについて研究、勉強することができるのが良い点だと考えた。横浜市大にいるときには自分から学習することが少なかったため、彼らの勉強の方法から学ばせてもらったこともたくさんあった。

そして生活面においては、何よりも円安の影響をひしひしと感じる毎日だった。1ポンド180円台が当たり前で、何をかうにもどこにいくのにもたくさんお金がかかってしまった。またイギリスのEU離脱の影響で物価がどんどん上昇し、スーパーにも物がそれほど入ってこなかったりと、なぜ今イギリス国民がEU離脱を公開しているのかを理解もできた。また、自分の日本人としてのアイデンティティをもっと大切にしたいと生活をする中で感じた。私が日本人だということほとんどの人は歓迎し、暖かく迎えてくれた、そして彼らが日本の歴史や文化について聞いてくることも多かったのだが、十分な回答をすることができるとは言えなかったため、海外についての知識をつけるだけでなく、もっと日本についても知っていきたいと思った。

最後に、この留学中にどんなことがあっても支え続けてくれた両親と家族に感謝したい。私にとって一人暮らしをすることは新しいことではなかったが、誰も頼る人がいない状況で8ヶ月もの長い間生活することは初めての経験であった。今までいかに家族に守られ、充実した生活を送っていたのか改めて実感した。この留学は私だけの力で成り立ったのではなくたくさんの人の応援があったからこそ実現されたことを胸に刻み、感謝したいと思う

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

今回の留学で学んだことは日本で生活しているだけでは得られないことばかりであった。私の場合、ここに留学をしにきて、教師ではなく何か他に私の好きなことを見つけて、それを仕事にしたいと考えるようになった。ここでたくさん学び、悩んで、視野を広げることが出来たため、日本に留まるのではなく海外の大学院に進学してみたいという気持ちになった。

今回特に気が付き、興味を持ったのは、イギリスがいかに多様な人種や文化によって成り立っているのかという点についてだ。日本にも昔に比べるとたくさんのバックグラウンドを持つ多様な人たちが住むようになったが、彼らが日本社会を形成し、になっていると言い難い部分があるのではないかと思った。しかしながらイギリスでは元イギリス領だった国を中心に、様々な人たちが住み、政治的な部分から見ても、インド人が政界にいてイギリス社会に貢献している社会を見ると、興味深いと感じた。そして、様々な人たちと出会う中で、国際社会の平和がいかに大切なものなのかも実感させられた。

実際に行ってみなくてはわからなかったことを糧に、日本社会とその暮の社会を比較して何か社会をより良くするシステムやアイデアを生み出せたらと思う。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

交換留学プログラムで長期留学をすることのメリットは、選んだ大学のある国の生活を体験できることだと思います。私自身高校生時代に1ヶ月の留学に行ったことがありますが、今回の約8ヶ月間の長期留学はそれとは全く違ったものでした。現地の大学生と同じように寮生活を送り、同じように課題をこなし、その国の生活を一通り経験できるのは交換留学ならではのメリットではないかと思います。

私が留学中につまずいてしまったことは現地の学生たちになじむことです。日本では流行しているものもこちらでは全く知られていなかったですし、もちろん私もこちらの学生が話している話題についていけないことが最初は多くありました。またイギリス人の中に混じって会話するとそのスピードに圧倒され、さらには独特なアクセントに戸惑うばかりでした。留学先で友達や誰か話をしたり、休日に遊びに行く相手を作るというのは思っているよりも大切なことで難しいことです。今思えば、海外の文化についてもっと勉強したり、イギリスで流行りの音楽を聴きながら英語になれることをもう少し早くしていればよかったのかなと思いますので、留学を考えていらっしゃる皆さんはぜひ、勉強や準備はもちろんですが文化や流行について触れておくといいかもしれません。

留学はしたいけれど英語力に自信がないという方たちへ、私は是非このプログラムに応募してみてチャレンジしてみればいいのかと思います。大学での勉強は専門用語も多く、少し難しい話題についての講義が行われる時もありますが、予習で予め専門用語が日本語の何にあたるのか、そしてそのことについての日本語の記事を事前に少し読んで学習しておけば非常にスムーズに講義内容を理解することができると思います。英語に自信がなくても、現地で普通に生活していればある程度の英語力は尽きますし、現地の友達や先生方が助けてくれるはずなので心配することはないと思います。

最後に、留学をされる予定の皆さんが楽しい留學生活を送られることをお祈りしております。

